

兒童訓

高橋易治撰

卷一

757  
382

K10.1  
284  
1

B I  
63



高橋易治撰

# 兒童訓

卷壹

明治十九年九月刊行

明治十九年九月十四日內務省交符ニ付

## 兒童訓

例言

一此書ハ尋常小學校修身科ノ用書トスルノ目的ヲ以テ  
内外ノ諸書ヨリ先哲ノ格言故人ノ善行ヲ撰録シ  
併セテ日常ノ作法ヲ掲グ  
二格言ハ我邦今日ノ情況ニ照シ最適切ニシテ兒童ニ

緊要ナルモノヲ採リ一々其出典ヲ舉グ善行ハ中道  
ヲ得テ偏倚セズ永世ノ龜鑑トナルベキモノヲ採リ多  
ク人ノ知ル所ノモノヲ舉グ

一作法及養生ノ法ハ古書ニ載スル所今日ニ適セザル  
モノ多ク且高尚ニシテ兒童ニ解シ易カラザルモノアリ

故ニ近刊ノ諸書ヲ參酌シテ之ヲ補充セリ其出典ヲ擧ゲザルモノハ皆是ナリ

一文ハ務メテ民間ノ言語ニ近カラシム是生徒ヲシテ誦讀一過直ニ其意義ヲ解セシメント欲スルナリ然レドモ全ク民間ノ通語ノミヲ用フルトキハ自卑陋ニ陥リ教科書ノ體ヲ失フノ嫌ヒアリ故ニ卑陋ニシテ學場ニ上セ難キモノハ避ケテ用ヒザルナリ

一民間常ニ用フル所ノ言語中全ク其意義ヲ異ニスルモノアレドモ是等ハ通俗ニ從ヒ敢テ之ヲ改メズ譬ヘバ「なあく」「ハケツク」又ハ「ナマジヒ」ノ意義ナレドモ「マコト」ニノ意義ニ用ヒ「できる」「出デ來ル」ノ意義ナレドモ成

就ノ意義ニ用ヒ「なあく」「よくできた」ト書スルノ類ナリ其他「あくび」「おじぎ」「あるく」「たべる」ノ類皆通俗ニ從フ一格言中原書ノ漢文ニ係ルモノハ勿論假令邦文ノモノト雖其意義ノ兒童ニ解シ難キモノハ之ヲ通俗ノ文ニ改ム故ニ原文ト對照スルトキハ自異同アリ讀者之ヲ諒セヨ

一此書第一卷ハ一冊ヲ以テ一ヶ年ノ課業ニ充テ第二卷以下ハ二冊ヲ以テ一ヶ年ノ課業ニ充テ合セテ四年ニ教授スベキモノトス然レドモ其教則ノ組織ニ由リテハ固ヨリ斟酌シテ可ナリ

一道德ノ教授ハ教師自其模範トナリ口ヲ以テ之ヲ諭

シ躬ヲ以テ之ヲ率中テ可ナリ然レドモ今日ノ情況ニ就キテ考フルトキハ未ダ全ク是ニ據リ難キモノアリ且、道德ノ教ヘタル其崇信スル所ナケレバ假令躬ヲ以テ之ヲ率ユルトモ兒童ヲシテ深ク觀念セシムルコト能ハザルナリ今兒童ヲシテ崇信スル所ヲ知ラシメ其觀念ヲ深カラシメント欲スルニハ書籍ニ據リテ之ヲ導クニ如カズ書籍ニヨリテ之ヲ導クトキハ特リ此目的ヲ達スルノミナラス復講再思セシムルノ便ヲ與ヘ兼テ記憶ヲ鞏固ナラシムルノ益アリ

撰者誌

兒童訓

目次

卷一

子供の心得

卷二

作法

孝悌 附實行

信實 附實行

正直 附實行

卷三

作法

慈愛 附實行

親切 附實行

學問 附實行

勉強 附實行

立志 附實行

忍耐 附實行

卷四

作法

從順 附實行

堪忍 附實行

謙遜 附實行

恭敬 附實行

廉恥 附實行

改過 附實行

報恩 附實行

卷五

作法

言語 附實行

交際 附實行

寬厚 附實行

沈勇 附實行

修德 附實行

養智 附實行

卷六

作法

節制 附實行

處事 附實行

治家 附實行

養生 附實行

勉職 附實行

勸業 附實行

卷七

作法

志節 附實行

貞操 附實行

忠君 附實行

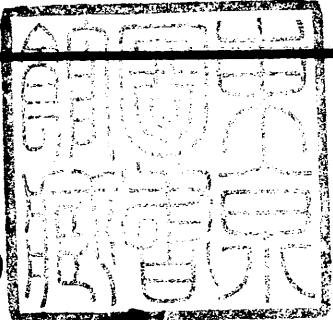
愛國 附實行

總論

目次終

兒童訓卷の一

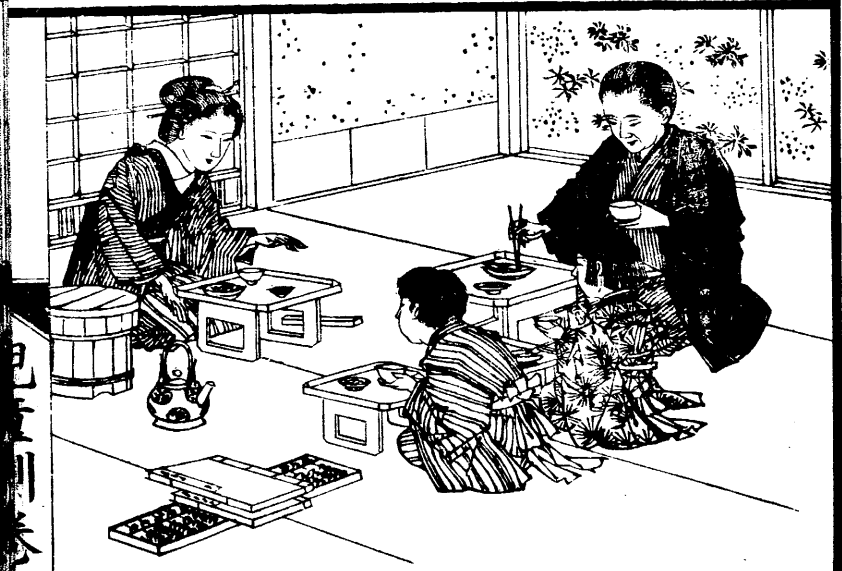
高橋易治撰



子供こどもの心得こころ

○あさはちちははより。  
はやくたきよ。

○たきたれば。きものを  
 きか。つくちを。ううぎ。か  
 ほと。てを。あら。つ。  
 ○あさ。たきたる。ときと。  
 ふる。い。ねんと。する。とき  
 は。ちち。は。は。に。た。じ。ぎ。を



なせ。  
 ○ものは。た  
 だ。やか。に。た  
 べ。ゆ。ち。や。は。  
 し。づ。か。に。の  
 め。

○うとつ。いづるやまや。  
 うちつかつりたるやま  
 はちちははにつげよ。  
 ○ちちははのたほせは  
 よくまもるづしまもら  
 ざるものはよまいごも

にあらず。  
 ○をさなくともけいこ  
 だうぐとはまものはじ  
 ぶんにてだしいれすづ  
 し。  
 ○けいこだうぐはま

びに。ろろへたくべし。  
○あさがくかうに。いづ  
るまへは。あろぶべから  
ず。

○かくかうに。ありては。  
せんせいを。やとたも

ひて。をしへ  
をうけよ。  
○かくかう  
に。ありては。  
あろぶこと  
を。たもふべ





からず。

○わかからぬことは。いく  
たびも。せんせいに。まけ  
きくことは。はぢにあら  
ず。

○はづかしく。たもひて。

まかぬときは。たぼゆる  
ときなし。

○けいこするときは。た  
れにも。まけじと。たも  
へ。

○はきなまき。あらうひは。

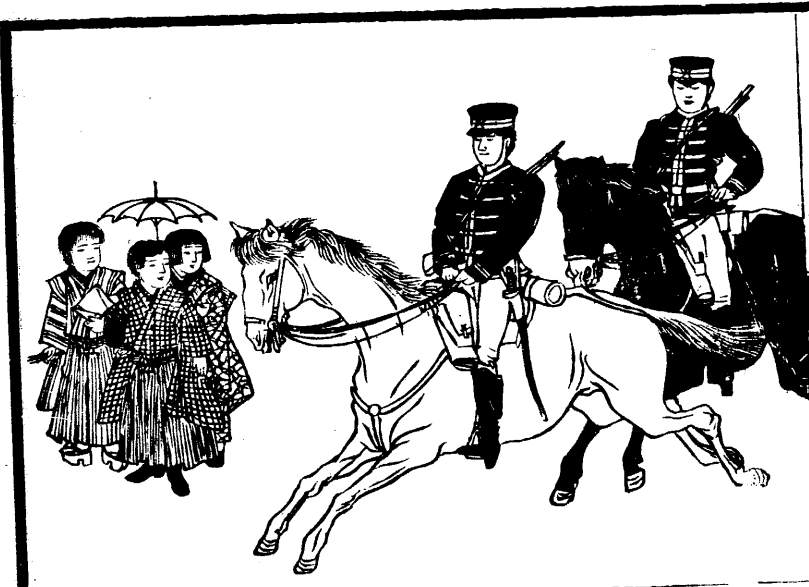
まくるが。かちなり。

○けいこのだうぐは。た  
いせつに。あつかふべし。  
これも。ちちはのたま  
ものなり。

○がくかうより。うちへ

かへりたれば。をしへを  
うけしところを。けいこ  
せよ。

○けいこを。はれば。ある  
ぶもよし。あるぶときは。  
ちちはのゆるしをう



東海道卷一

けよ。  
 ○ひくれま  
 で。あうぶは  
 わろしばん  
 めしのとま  
 には。かなら

ずかへれ。

○よるは。めうへのひと  
 の。めしつれたまふにあ  
 らざれば。うとついつる  
 ことなかれ。  
 ○よる。いぬるとき。は。ま

七

ものをたたみ。てまくら  
もとに。たくべし。

○すべてめうへのひと  
をうやまひ。たじきをわ  
するべからず。

○あに。あねに。さからは

ず。たとうと。いもうとと。  
なかよくせよ。

○めうへのひとの。さし  
づは。つつしみて。きくづ  
し。

○ともだちと。なかよく

まじはり。あらうふづか  
らず。

○ひとのとひあるとき。  
しりしことはいさぎよ  
くこたつよぐちくし  
て。こたつざるはみぐる

し。

○たはむれ  
に。いきもの  
を。ころすべ  
からず。ひを  
もてあうぶ。づか



○たづもの。きもの。の。よ  
しあしを。かたるべからず。  
○あぶなき。あろびを。な  
すことなかれ。

○いしなげ。ゆみひき。き  
のぼり。なごも。またあぶ

なき。あろびなり。

○ことばづかひを。ただ  
やかにし。たちる。ふるま  
ひを。しとやかにせよ。

○ひとより。ものをもら  
ひたるときは。かならず。

ちち。ははに。つげよ。

○かづ。ついで。ふすま。なご  
に。むだ。が。き。する。は。よ。ま  
こと。ご。も。の。な。さ。い。る。こ。と  
なり。

○よ。ば。れ。た。る。と。き。は。す

みやかに。こたへよ。こた  
へたれば。すみやかに。た  
て。

○きよ。から。ざる。みづ。は。  
の。む。べ。か。ら。ず。じ。ゆ。く。せ  
ざる。く。だ。も。の。は。た。づ。る

べからず。

○あつきゆをむりにの  
むべからず。こほりをま  
るのみになすべからず。

○ちゝはゝの。たほせな  
くして。ともだちと。もの

を。とりやりすべからず。

○あつくともはだぬぐ  
は。わろし。さむくとも。た  
ちながら。あしをあぶる  
は。よろしからず。

○たはたを。ふみゆくな。



うま。くるまに。あはば。わ  
き。つ。さ。け。ふ。  
○ものをひろひたると  
きは。めう。つ。の。ひと。につ  
げて。さ。し。づ。を。う。く。べ。し。  
兒童訓卷の一終

明治十九年八月四日版權免許  
明治十九年九月 出版

撰者

宮城縣士族

定價金五錢

高橋易治

東京芝區愛宕町壹丁目  
貳番地

出版人

東京府士族

後藤鋼吉

東京京橋區弓町  
三番地



22  
7  
80